

平成27年6月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年2月6日
東

上場会社名 株式会社ブロードバンドタワー 上場取引所
 コード番号 3776 URL <http://www.bbtower.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 CEO (氏名) 藤原 洋
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 法務・経理統括 (氏名) 中川 美恵子 (TEL) 03-5202-4800
 四半期報告書提出予定日 平成27年2月12日 配当支払開始予定日 平成27年3月9日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年6月期第2四半期の連結業績(平成26年7月1日～平成26年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年6月期第2四半期	15,578	14.1	468	9.7	459	11.7	128	△19.3
26年6月期第2四半期	13,654	21.8	426	△21.4	411	△1.3	159	△9.4

(注) 包括利益 27年6月期第2四半期 220百万円(13.6%) 26年6月期第2四半期 194百万円(△17.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年6月期第2四半期	2.95	2.94
26年6月期第2四半期	3.66	3.65

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年6月期第2四半期	13,946	6,188	40.1
26年6月期	12,785	6,017	43.1

(参考) 自己資本 27年6月期第2四半期 5,595百万円 26年6月期 5,511百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年6月期	—	0.50	—	1.00	1.50
27年6月期	—	1.00			
27年6月期(予想)			—	1.00	2.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年6月期の連結業績予想(平成26年7月1日～平成27年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	29,000	8.4	850	8.2	880	9.8	290	21.5	6.67

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、 除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年6月期2Q	51,474,000株	26年6月期	51,469,000株
27年6月期2Q	7,980,000株	26年6月期	7,980,000株
27年6月期2Q	43,492,342株	26年6月期2Q	43,459,283株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	11
4. 補足情報	13
(1) 生産、受注及び販売の状況	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループが属する情報サービス産業におきましては、クラウドサービスやビッグデータ市場の拡大等、上向きの傾向にはあるものの、情報サービス産業間の競争は激しさを増しており、事業を取り巻く環境は依然として厳しい状況が続いております。

このような環境のもと、当社グループは、「既存の主力事業の構造改革」と「関連新規事業立ち上げ」を基本方針とし、コンピュータプラットフォーム事業では、データセンターサービスやクラウドサービスにおけるサービスの強化、太陽光発電事業の開始を契機としたスマート・エネルギー及び連結子会社である株式会社Lyudia（以下、Lyudia）が行っている決済事業等を中心に、また、ファッションビジネスプラットフォーム事業では、株式会社ビービーエフ（以下、ビービーエフ）グループを中心に推進してまいりました。

当第2四半期連結累計期間におけるセグメントの概況は以下のとおりであります。

コンピュータプラットフォーム事業におきましては、データセンター、クラウド・ソリューション、データ・ソリューション、スマート・エネルギー及びその他・海外事業に分け、サービスを展開しております。

データセンターでは、お客様のニーズが変化・多様化していることから、従来にも増して柔軟なサービスを提供することが重要になっております。当社は、お客様により柔軟で付加価値の高いサービスを提供するため、本年（平成27年）4月より、第5サイト（東京都江東区）の運用を開始する予定です。

クラウド・ソリューションでは、仮想化クラウドサービス「GrowServer」に加え、当社独自のc9サービスにおいて、他社とのアライアンスにより中堅・中小企業向けのc9プラットフォーム基盤の展開を推進するなどサービスの拡大を図りました。また、昨年（平成26年）6月に、クラウドセキュリティ認証制度「STAR認証」を取得したことにより、信頼性のあるセキュリティという当社の特長を訴求し受注拡大を図っております。加えて、昨年12月に、当社は、セキュリティ関連の事業を行っている株式会社セキュアとの間で資本・業務提携を結び、同社の監視用ネットワークカメラシステムのノウハウを、当社のクラウドサービスと連携させることにより、セキュリティ分野における動画画像関連サービスの拡充を図ってまいります。

データ・ソリューションでは、当社の主力プロダクトである米EMC社製の「Isilonシリーズ」の販売拡大に努めました。また、決済市場の更なる拡大を見越して設立したLyudiaは、決済ビジネス向けのデバイス、アプリケーションやシステム開発等を着実に進めております。

スマート・エネルギーでは、山口県防府市における太陽光発電事業は、大きな天候の影響を受けずに順調に推移し売り上げに貢献しております。さらに、昨年10月には、当社2か所目となる太陽光発電所を群馬県みなかみ町において着工し、本年2月下旬より売電を開始する予定です。

その他・海外事業では、米国ハワイ州の共同事業先であるDRFortress社のホノルルのデータセンターが売り上げに貢献しております。また、昨年12月には、新たなサービスとして、高精細な3D地図画像をAPI（Application Programming Interface）経由で提供するWebサービス「GEO-SIM Web-APIサービス」を開始いたしました。

この結果、コンピュータプラットフォーム事業の売上高は3,779百万円（前年同四半期比6.5%減少）、営業利益は76百万円（同61.3%減少）となりました。

一方、ファッションビジネスプラットフォーム事業におきましては、ビービーエフが行うECシステム構築支援・運用サービス、TVショッピング支援サービス及びビービーエフの子会社である株式会社ブランチ・アウト（以下、ブランチ・アウト）が行うファッションホールセールサービスを主軸とした事業を展開しております。

ECシステム構築支援・運用サービスでは、ブランドオフィシャルECサイト制作から受発注システム構築・運用、倉庫業務、商品配送業務まで、インターネット、携帯、スマートフォンを活用した通信販売に必要なプラットフォームを一括して提供しております。大手既存ブランドの売り上げが順調に拡大を続けたことに加え、新規ブランドも順調に獲得できており、昨年12月末時点におけるサイト数は、88サイトとなりました。

TVショッピング支援サービスでは、株式会社QVCジャパンを中心とするTV通信販売会社とファッションメーカーとを繋ぎ、商品企画、在庫・生産管理から販売に至るまでを支援することを可能としております。

ファッションホールセールサービスでは、ブランチ・アウトが大手小売店に対し、衣料品の販売・企画・デザイン・製造・生産管理を一貫して行っております。ブランチ・アウトは、天候不良の影響を受け、夏物が不調ではありましたが、第1四半期連結会計期間から、連結の範囲に含めたビービーエフの子会社である上海布藍綺国際貿易有限公司は、

堅調な業績で推移しております。

この結果、ファッションビジネスプラットフォーム事業の売上高は11,798百万円（前年同四半期比22.7%増加）となり、営業利益は389百万円（同71.8%増加）となりました。

以上の活動により、当第2四半期連結累計期間における当社グループの売上高は15,578百万（前年同四半期比14.1%増加）、営業利益は468百万円（同9.7%増加）、経常利益は459百万円（同11.7%増加）、四半期純利益は128百万円（同19.3%減少）となりました。

（2）財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、売上の増加による受取手形及び売掛金の増加等により、前連結会計年度末に比べ1,161百万円増加し、13,946百万円となりました。

負債合計は、長期借入金は減少したものの、買掛金等の増加により、前連結会計年度末に比べ989百万円増加し、7,757百万円となりました。純資産合計は、剰余金の配当はあったものの、四半期純利益の計上や少数株主持分の増加等により、前連結会計年度末に比べ171百万円増加し、6,188百万円となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末と比較して294百万円増加し4,496百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは、利益の増加、たな卸資産の減少等により、前年同期比568百万円の収入増加となる880百万円の収入となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出が減少したこと等により、前年同期比761百万円の支出減少となる206百万円の支出となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入金の返済を進めたこと等により、前年同期比360百万円の支出増加となる390百万円の支出となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年6月期の通期連結業績予想につきましては、平成26年8月6日に公表いたしました通期業績予想から変更はございません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

(特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(特定子会社以外の子会社の異動)

第1四半期連結会計期間より、上海布藍綺国際貿易有限公司の重要性が増したため、連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,791,453	3,816,431
受取手形及び売掛金	3,203,174	4,358,019
有価証券	599,976	899,884
商品及び製品	661,812	638,680
繰延税金資産	168,799	116,184
その他	228,951	265,850
貸倒引当金	△2,933	△2,596
流動資産合計	8,651,234	10,092,454
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	590,750	532,791
機械及び装置(純額)	795,312	773,949
工具、器具及び備品(純額)	279,140	266,984
土地	1,078	1,078
リース資産(純額)	11,348	8,873
建設仮勘定	2,000	796
有形固定資産合計	1,679,630	1,584,474
無形固定資産		
のれん	847,305	721,069
その他	208,085	192,103
無形固定資産合計	1,055,390	913,173
投資その他の資産		
その他	1,399,917	1,357,254
貸倒引当金	△455	△555
投資その他の資産合計	1,399,461	1,356,699
固定資産合計	4,134,482	3,854,347
資産合計	12,785,717	13,946,802

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,322,591	3,613,677
1年内返済予定の長期借入金	742,664	742,664
未払法人税等	110,894	144,299
賞与引当金	89,294	81,869
役員賞与引当金	1,600	2,250
返品調整引当金	1,707	1,571
資産除去債務	33,576	—
その他	1,053,866	1,091,125
流動負債合計	4,356,194	5,677,457
固定負債		
長期借入金	1,742,336	1,398,004
役員退職慰労引当金	177,499	185,000
退職給付に係る負債	23,361	26,247
資産除去債務	461,483	465,664
その他	7,238	5,439
固定負債合計	2,411,919	2,080,355
負債合計	6,768,114	7,757,812
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,327,560	2,327,803
資本剰余金	2,310,848	2,311,091
利益剰余金	3,100,629	3,182,339
自己株式	△2,228,332	△2,228,332
株主資本合計	5,510,706	5,592,902
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,003	1,127
為替換算調整勘定	—	1,899
その他の包括利益累計額合計	1,003	3,026
新株予約権	31,901	31,745
少数株主持分	473,990	561,314
純資産合計	6,017,602	6,188,989
負債純資産合計	12,785,717	13,946,802

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年7月1日 至平成25年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年7月1日 至平成26年12月31日)
売上高	13,654,548	15,578,140
売上原価	11,374,379	12,966,532
売上総利益	2,280,169	2,611,608
販売費及び一般管理費	1,853,216	2,143,202
営業利益	426,952	468,405
営業外収益		
受取利息	1,336	2,748
受取配当金	162	180
出資金運用益	5,959	—
業務受託手数料	1,600	46,570
その他	594	6,708
営業外収益合計	9,652	56,207
営業外費用		
支払利息	23,573	19,185
出資金評価損	—	43,027
その他	1,906	3,326
営業外費用合計	25,480	65,539
経常利益	411,125	459,074
特別利益		
新株予約権戻入益	124	—
特別利益合計	124	—
税金等調整前四半期純利益	411,249	459,074
法人税、住民税及び事業税	143,981	176,837
法人税等調整額	74,152	65,654
法人税等合計	218,133	242,491
少数株主損益調整前四半期純利益	193,115	216,582
少数株主利益	33,992	88,172
四半期純利益	159,123	128,409

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年7月1日 至平成25年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年7月1日 至平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	193,115	216,582
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	889	212
為替換算調整勘定	—	3,525
その他の包括利益合計	889	3,737
四半期包括利益	194,005	220,320
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	159,642	130,590
少数株主に係る四半期包括利益	34,363	89,730

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	(単位：千円)	
	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年7月1日 至平成25年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年7月1日 至平成26年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	411,249	459,074
減価償却費	247,546	188,891
のれん償却額	123,359	126,235
株式報酬費用	3,411	—
新株予約権戻入益	△124	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	1,495	△337
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△2,000	650
賞与引当金の増減額(△は減少)	△2,262	△7,424
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	49,999	7,500
退職給付引当金の増減額(△は減少)	3,003	—
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	—	2,886
返品調整引当金の増減額(△は減少)	△1,617	△136
受取利息及び受取配当金	△1,498	△2,929
支払利息	23,573	19,185
出資金運用益	△5,959	—
出資金評価損	—	43,027
売上債権の増減額(△は増加)	△731,528	△1,181,226
たな卸資産の増減額(△は増加)	△368,447	25,146
仕入債務の増減額(△は減少)	975,568	1,291,086
未払消費税等の増減額(△は減少)	19,960	47,460
その他	△68,740	31,114
小計	676,991	1,050,202
利息及び配当金の受取額	1,498	2,923
利息の支払額	△24,506	△19,251
法人税等の支払額	△342,427	△220,211
法人税等の還付額	—	66,889
営業活動によるキャッシュ・フロー	311,556	880,552
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△30,000	△30,000
有形固定資産の取得による支出	△616,056	△89,328
ソフトウェアの取得による支出	△53,490	△27,756
投資有価証券の取得による支出	△449	△27,800
投資事業組合の分配金による収入	—	23,300
出資金の払込による支出	△16,560	—
事業譲受による支出	△202,951	—
敷金の差入による支出	△7,376	△16,900
差入保証金の回収による収入	165	—
資産除去債務の履行による支出	△41,560	△38,000
投資活動によるキャッシュ・フロー	△968,278	△206,484

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年7月1日 至平成25年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年7月1日 至平成26年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	300,000	—
長期借入金の返済による支出	△284,000	△344,332
リース債務の返済による支出	△3,836	△2,632
株式の発行による収入	1,122	261
配当金の支払額	△42,781	△43,638
財務活動によるキャッシュ・フロー	△29,496	△390,342
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	3,220
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△686,218	286,945
現金及び現金同等物の期首残高	3,838,046	4,201,423
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	7,940
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,151,827	4,496,309

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成25年7月1日 至 平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	コンピュータプラットフォーム事業	ファッションビジネスプラットフォーム事業	計		
売上高					
(1) 外部顧客に対する 売上高	4,041,228	9,613,320	13,654,548	—	13,654,548
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	8,073	1,736	9,809	△9,809	—
計	4,049,301	9,615,057	13,664,358	△9,809	13,654,548
セグメント利益	198,667	226,503	425,170	1,781	426,952

(注) 1 セグメント利益の調整額1,781千円は、セグメント間取引消去額であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

前連結会計年度の末日に比して、当第2四半期連結会計期間の報告セグメントごとの資産の金額が著しく変動しております。その概要は、以下のとおりです。

「コンピュータプラットフォーム事業」において、太陽光発電設備を取得したことにより、セグメント資産が536,900千円増加しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「コンピュータプラットフォーム事業」において、株式会社ITコアより仮想化クラウドホスティング事業(『GrowServer』サービス)を譲受けました。

なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第2四半期連結累計期間において128,925千円であります。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成26年7月1日 至 平成26年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	コンピュータブ ラットフォーム 事業	ファッションビ ジネスプラット フォーム事業	計		
売上高					
(1) 外部顧客に対する 売上高	3,779,324	11,798,816	15,578,140	—	15,578,140
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	9,401	1,978	11,380	△11,380	—
計	3,788,726	11,800,795	15,589,521	△11,380	15,578,140
セグメント利益	76,794	389,219	466,014	2,391	468,405

(注) 1 セグメント利益の調整額2,391千円は、セグメント間取引消去額であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 生産、受注及び販売の状況

① 生産実績

当社グループは、生産に該当する事項がないため、生産実績に関する記載はしていません。

② 受注実績

当社グループは、受注生産を行っていませんので、受注実績に関する記載はしていません。

③ 販売実績

当第2四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年7月1日 至 平成26年12月31日)	前年同期比(%)
	金額(千円)	
コンピュータプラットフォーム事業	3,779,324	△6.5
ファッションビジネスプラットフォーム事業	11,798,816	+22.7
合計	15,578,140	+14.1

(注) 1 セグメント間取引については、相殺消去しております。

2 主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合

相手先	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年7月1日 至 平成25年12月31日)		当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年7月1日 至 平成26年12月31日)	
	販売高(千円)	割合(%)	販売高(千円)	割合(%)
株式会社しまむら	2,639,736	19.3	2,105,552	13.5
株式会社QVCジャパン	2,330,973	17.1	2,036,190	13.1
ヤフー株式会社	2,062,065	15.1	1,848,024	11.9

3 上記金額には、消費税等は含まれておりません。